高砂香料工業株式会社
2027年3月期　第2四半期決算説明補足資料

証券コード:4914

2026年11月13日

© 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期 事業概況及び業績

【2027年3月期 2Q】概況

- フレーバー：東南アジア、欧州で飲料関連を中心にフレーバーが堅調に推移
- フレグランス：東南アジアや中国ではファブリックケア等、欧州でファインフレグランスを中心に出荷が増加
- 中東情勢の影響：海外拠点は2Q（4月～6月）に原材料費が上昇傾向。日本では２Q（7月～9月）に原材料費の上昇が損益に影響

【2027年3月期 2Q】業績

[単位：億円]	2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	通期見通し（8月開示）	前期比	通期見通し（8月開示）進捗率	主な増減要因
売上高	1,145	1,294	2,400	+13.0%	+53.9%	• フレーバーは東南アジア、欧州で増加 • フレグランスは欧州、東南アジア、中国で増加
営業利益	62	61	110	△1.2%	+55.8%	• 原材料価格上昇を主因に売上総利益率が低下
経常利益	67	59	115	△12.9%	+51.0%	• 外貨建債権に係る為替差損益が悪化 （前期：為替差益／当期：為替差損）
親会社株主に帰属する当期純利益	54	44	94	△19.3%	+46.3%	• 投資有価証券売却益が前期比で減少
期中平均為替レートUSD	149	158	150	+6.4%	-	
期中平均為替レートEUR	162	185	170	+13.8%	-	

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 業績見通し及び配当

【2027年3月期】通期業績見通し

[単位：億円]	2026/3 実績	2027/3 予想（修正後）	前期比	主な増減要因
売上高	2,251	2,600	+15.5%	• フレーバーでは新興国向けの売上が増加 • フレグランスではファブリックケア、ホームケアを中心に増加 • 米国子会社において医薬品中間体の出荷が増加 • 海外子会社の売上高の円換算による増収
営業利益	81	110	+35.3%	• 増収に伴い売上総利益が増加 • 欧米向け医薬品中間体の輸出増により、日本本社で増益
経常利益	95	115	+20.9%	• 営業利益増加に伴い増益 • 外貨建債権の評価替えに係る為替差益は前期比減少
親会社株主に帰属する当期純利益	95	94	△ 1.3%	• 投資有価証券売却益は前期比減少

【2027年3月期】通期配当予想

[単位：円]	2026/3 実績	2027/3 予想	補足情報
中間	120	26	• 2026/3の中間は分割前の金額を記載
期末	28	30	• 2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合をもって分割。2026/3の期末より分割後の金額を記載
年間	-	56	• 2026/3の年間の配当は、単純合計ができないため、非表示 • 2027/3は、DOEは3.5%、配当性向58.1%
（参考：5分割後）	52	56	• 2026/3の通期配当は分割前基準で260円、分割後基準で52円

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期業績

[単位：億円]	2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	2027/3 見通し（8月開示）	前期比	通期見通し（8月開示）進捗率
売上高	1,145	1,294	2,400	+13.0%	+53.9%
売上総利益	376	420	801	+11.9%	+52.5%
売上総利益率	32.8%	32.5%	33.4%	△0.3P	-
販売管理費	314	359	691	+14.5%	+52.0%
販売管理費率	27.4%	27.8%	28.8%	+0.4P	-
営業利益	62	61	110	△1.2%	+55.8%
営業利益率	5.4%	4.7%	4.6%	△0.7P	-
経常利益	67	59	115	△12.9%	+51.0%
経常利益率	5.9%	4.5%	4.8%	△1.3P	-
親会社株主に帰属する当期純利益	54	44	94	△19.3%	+46.3%
純利益率	4.7%	3.4%	3.9%	△1.3P	-
期中平均為替レート USD	149	158	150	+6.4%	-
期中平均為替レート EUR	162	185	170	+13.8%	-

主な増減要因

売上高

- 1,294億円(＋13.0%)
  - フレーバーは東南アジア、欧州で増加
  - フレグランスは欧州、東南アジア、中国で増加

営業利益

- 61億円(△1.2%)
  - 原材料価格上昇を主因に売上総利益率が低下
  - 販売・管理体制強化に伴い販管費が増加

経常利益

- 59億円(△12.9%)
  - 外貨建債権に係る為替差損益が悪化
    (前期：為替差益／当期：為替差損)

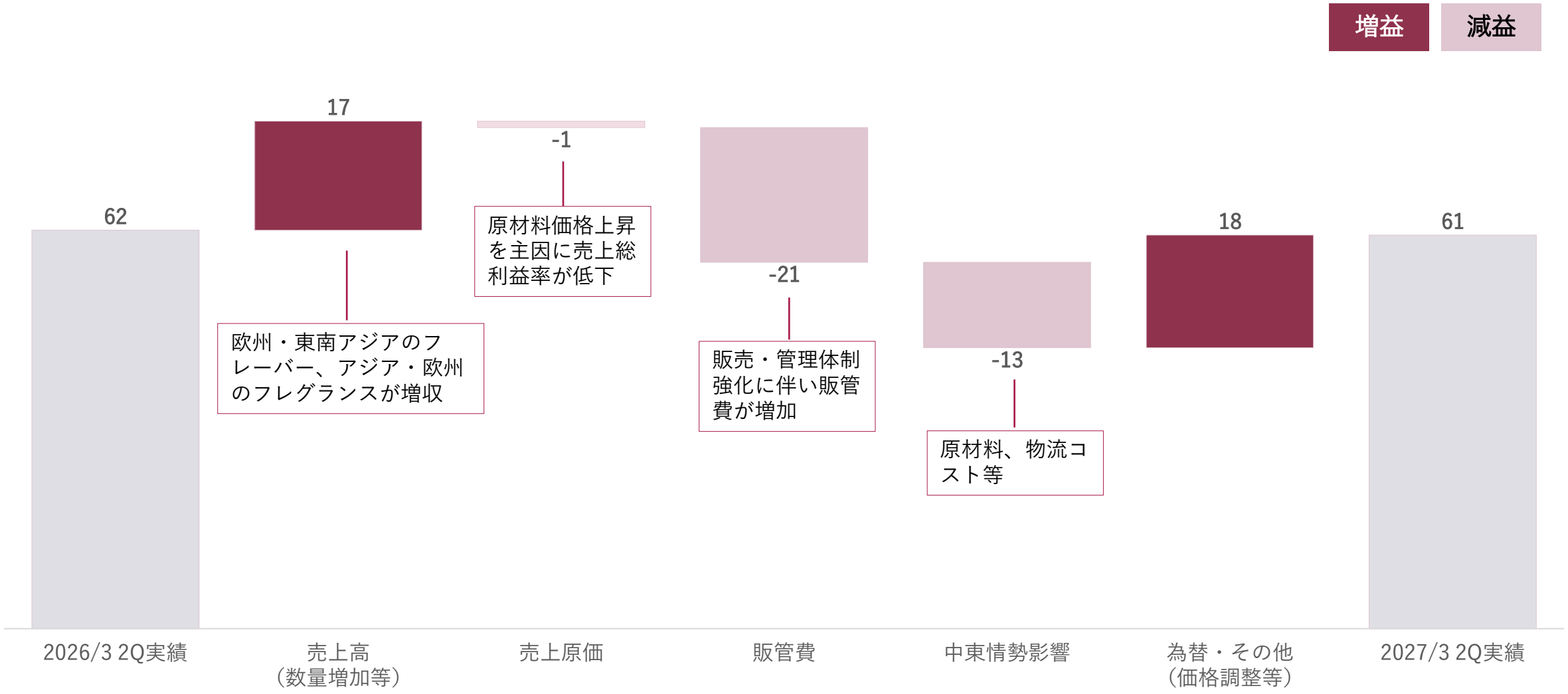
親会社株主に帰属する当期純利益

- 44億円(△19.3%)
  - 投資有価証券売却益が前期比で減少

© 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期業績 営業利益増減分析

［単位：億円］



※営業利益増減分析のうち、売上高・売上原価・販管費は同一の為替レート（前期実績）を適用して影響額を計算している

© 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期業績（地域別）

［単位：億円］		2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	通期見通し（8月開示）	前期比	通期見通し（8月開示）進捗率	主な増減要因
日　　本	売上高	402	413	775	+11	+53.3%	● 飲料関連が堅調に推移 ● アロマイングリディエンツで合成香料中間体等の輸出が増加し、売上総利益が改善
	営業利益	9	15	20	+6	+72.5%	
米　　州	売上高	289	324	652	+34	+49.6%	● 米国子会社でファインケミカルの出荷が増加 ● 中南米子会社でフレグランスが堅調に推移 ● 米国子会社で売上総利益率が低下
	営業利益	11	5	26	△ 6	+17.2%	
欧　　州	売上高	205	243	429	+39	+56.7%	● ファインフレグランス、飲料等が堅調に推移 ● フランス子会社で新基幹システム償却費が増加 ● ドイツ子会社で新基幹システム導入準備費用増
	営業利益	10	5	1	△ 5	+515.8%	
ア　ジ　ア	売上高	249	314	544	+65	+57.7%	● 東南アジアはグローバル顧客向け、中国はリージョナル顧客向けファブリックケア等が堅調に推移
	営業利益	32	49	63	+17	+78.6%	
調　　整	売上高	-	-	-	-	-	● ファインケミカルのグループ内取引増加により未実現利益が増加
	営業利益	1	△ 12	0	△ 13	-	
合　　計	売上高	1,145	1,294	2,400	+149	+53.9%	
	営業利益	62	61	110	△ 1	+55.8%	

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期業績（事業別）

[単位：億円]		2026/3 2Q実績	2027/3 2Q実績	通期見通し（8月開示）	前期比	通期見通し（8月開示）進捗率	主な増減要因
フレーバー	売上高	634	688	1,260	+54	+54.6%	● 東南アジア、欧州で飲料関連の出荷が増加 ● ドイツ子会社で新基幹システムの導入準備費用が増加
	営業利益	42	40	51	△ 2	+79.4%	
フレグランス	売上高	363	448	791	+85	+56.6%	● 中国や東南アジアでファブリックケア等が増加、欧州でファインフレグランスが増加
	営業利益	6	15	26	+9	+57.4%	
アロマイングリディエンツ	売上高	82	89	165	+7	+53.9%	● 合成香料中間体等の出荷が堅調に推移 ● 主要原材料価格上昇により、売上総利益が減少
	営業利益	14	11	15	△ 3	+74.4%	
ファインケミカル	売上高	59	62	170	+3	+36.5%	● 米国子会社で医薬品中間体が堅調に推移 ● 原材料価格上昇により、売上総利益が減少 ● グループ内取引増加により未実現利益が増加
	営業利益	△ 6	△ 12	6	△ 6	△192.0%	
その他	売上高	7	7	14	+0	+51.1%	
	営業利益	6	6	12	+0	+52.2%	
合計	売上高	1,145	1,294	2,400	+149	+53.9%	
	営業利益	62	61	110	△ 1	+55.8%	

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 通期見通し

[単位：億円]	2026/3 実績	2027/3 予想 (8月開示)	2027/3 予想 (11月開示)	前期比	11月開示 vs 8月開示
売上高	2,251	2,400	2,600	+15.5%	+8.3%
売上総利益	729	801	837	+14.8%	+4.5%
売上総利益率	32.4%	33.4%	32.2%	△0.2P	△1.2P
販売管理費	648	691	727	+12.3%	+5.2%
販売管理費率	28.8%	28.8%	28.0%	△0.8P	△0.8P
営業利益	81	110	110	+35.3%	+0.0%
営業利益率	3.6%	4.6%	4.2%	+0.6P	△0.4P
経常利益	95	115	115	+20.9%	+0.0%
経常利益率	4.2%	4.8%	4.4%	+0.2P	△0.4P
親会社株主に帰属する当期純利益	95	94	94	△1.3%	+0.0%
純利益率	4.2%	3.9%	3.6%	△0.6P	△0.3P
期中平均為替レート USD	150	150	158	+5.3%	+5.3%
期中平均為替レート EUR	169	170	183	+8.3%	+7.6%

主な増減要因（11月開示 vs 8月開示）

売上高

- 2,600億円(+8. 3%)
  - 日本のフレーバーで増収
  - 東南アジアのフレーバー、フレグランスで増収
  - 海外子会社の売上高の円換算による増収

営業利益

- 110億円(+0.0%)
  - 原材料費上昇により売上総利益率は低下
  - 販管費率は改善

経常利益

- 115億円(+0.0%)

親会社株主に帰属する当期純利益

- 94億円(+0.0%)

© 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績見通し（地域別）

[単位：億円]		2026/3 実績	2027/3 見通し（8月開示）	2027/3 見通し（11月開示）	11月開示 vs 前期実績	11月開示 vs 8月開示
日本	売上高	770	775	798	+3.7%	+3.0%
	営業利益	6	20	14	+132.1%	△31.6%
米州	売上高	556	652	706	+27.0%	+8.3%
	営業利益	9	26	9	+1.4%	△64.9%
欧州	売上高	424	429	465	+9.7%	+8.4%
	営業利益	8	1	1	△85.1%	+17.9%
アジア	売上高	502	544	631	+25.7%	+15.9%
	営業利益	57	63	86	+51.8%	+37.1%
調整	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	2	0	0	+0.0%	+0.0%
合計	売上高	2,251	2,400	2,600	+15.5%	+8.3%
	営業利益	81	110	110	+35.3%	+0.0%

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

2027年3月期 通期業績見通し（事業別）

[単位：億円]		2026/3 実績	2027/3 見通し (8月開示)	2027/3 見通し (11月開示)	11月開示 vs 前期実績	11月開示 vs 8月開示
フレーバー	売上高	1,226	1,260	1,345	+9.7%	+6.7%
	営業利益	52	51	58	+11.2%	+13.1%
フレグランス	売上高	758	791	885	+16.7%	+11.8%
	営業利益	6	26	21	+270.8%	△18.9%
アロマイングリディエンツ	売上高	162	165	164	+1.6%	△0.4%
	営業利益	20	15	14	△32.7%	△9.4%
ファインケミカル	売上高	91	170	192	+110.3%	+12.7%
	営業利益	△ 8	6	4	△153.0%	△26.9%
その他	売上高	14	14	15	+4.2%	+4.7%
	営業利益	12	12	13	+12.0%	+10.5%
合計	売上高	2,251	2,400	2,600	+15.5%	+8.3%
	営業利益	81	110	110	+35.3%	+0.0%

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

※注意事項

本資料は、2026年11月13日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

TAKASAGO © 2026 Takasago International Corporation All Rights Reserved.

感性のとなりに

TAKASAGO

TAKASAGO

感性のとなりに

香りをつくることは
だれかの感性について思いをはせることだと
わたしたちは考えます。

1920年の創業から、
気がつけば、世界の国と地域へ。

そのすべてには、
この地球の、あの街で暮らす、
「その人」の感性に栄養を届け、
喜ばせたいという思いがあります。

きもちで測って、科学でかたちにすること。
つぎは、香りと何をしよう？
そう問いつづけ、可能性をひとつずつひらいていくこと。

わたしたちは、いつも感性のとなりで
香りが世界にできることを考えつづけます。